

今軍拡やつしる場合か



軍大軍拡 異議あり

2月6日の衆院予算委員会で、鶴田憲一さんが集団的自衛権行使して敵基地攻撃を行った場合について質問して、浜田靖一防衛相から「日本に大規模な被害が生じる可能性」に言及する答弁を引き出した。あれはすばらしかったね。僕は「朝日」「毎日」「読売」を購読しているんだから、翌日どう報道するか注

意したんだ。だけじゃなく、もう一つ問題だよ。

だけでもこの問題を正面から

島田文雄首相が訪米して、軍事費を5年間で43兆円にする大軍拡をバイデン大統領に約束した。僕はこれをやつたら、本当に國が滅ぶと思ってる。あれこれの重要な問題の一つじゃない。これがだけの物語で、国民生活

行へ末、政黨の責任が問われる

元公明党副委員長
二見 伸明さん

が苦しい今、軍拡をやつてる場合じゃないだろう。「欲しがりません勝つまでは」「せいたくは敵だ」ってことなのか。43兆円の財源は増税か国債。あとは福祉・社会保障、教育関係、とのつまみが国民生活の予算を削るしかないんだ。戦時国債なんて話を、また耳にするとは思わなかった。まさに「新しい戦

前」だね。

(三回続)

議論を大事にする共産党

元公明党副委員長 一見 伸明さん

一面のつづき

メディアの共産党バッシングも戦前と同じだ。共産のルール違反を聞いたり、異論封じ、強権体質。要は“アカは怖い”って書いていいんだといいんだよ。

理屈に合ってて、僕はいいと思うよ。社説で「他の公明が普通に行っている党首選」と書いた新聞もあったけど、だ

れはいい悪いの問題じゃない。それぞれの政党が自分に合ったルールを自由に決めているってこの辺の前の話だよ。

僕は長く公明党にいたけどね。だけでもの政策も自分たちのルールを自由と作って投票。公明党が党首選をやつ

て派閥争いになつた結果、創価学会の組織問題になつてしまつ。だから、公明党は派閥をつくらないために、党首選はやらないんだ。

党内での議論という点では、共産党は徹底している。思つよ。綱領を作るために何年もかけて党内で議論した。

党大会で決める文章も毎回、何回も全党討論にかけている。共産党ほんと党内議論を大事にする政党はないと思うよ。

(霞毛手 記者)